

高校ラグビーが直面する現状

- ・ 少子化、強豪校への集中、県外への進学 ⇒ 存続できない学校の増加
- ・ 部員数の減少 ⇒ 練習内容に制限
- ・ 単独でチーム編成ができない学校の増加 ⇒ プレイヤーのゲーム経験が減少

直面している状況は、各クラブ、高校だけで解決することは非常に難しいのではないかと考えます。



このままでは、強豪校だけが存続し
その他多くの高校ラグビー部は姿を消してしまうのでは？
若い世代がラグビーを通して成長できる機会が無くなるのでは？
と強く危惧します。

私たちの提案

ラグビーを愛する者として

若い世代の可能性をサポートしたいと考える者として

「ラグビーをもっと楽しめる環境を提供したい」

それが、私たちの思いです。

具体的には

- ・できるだけ多くゲームを楽しんで欲しい
- ・チーム力や人数、個人の能力に関係なく、成長する楽しさを何度も経験して欲しい
- ・ラグビーを通して、たくさんの仲間を創って欲しい
- ・様々なコミュニティによって自分たちがサポートされていることを感じて欲しい
- ・自分の可能性を大きく感じて欲しい

といういくつかのテーマを設けました。

今回のプロジェクトは、このような主旨で企画、立案しました。

私たちのスタンス

このプロジェクトは、高校生のラグビー指導の最前線で活躍されている先生方や、ラグビー協会のお力添えがなければ実現できないと認識しております。

学校やスクール、ラグビー協会との強い連携をもとに若者達により良い環境を提供するためのプラットフォームとして

「若者達にとってのあらゆる面での環境整備が目的であること」

「運営は、兵庫県ラグビー協会との連携、支持のもと行う」

「コーチングは、各校の指導者の方々とともに進めていくこと」

を前提にプロジェクトを進めていきたいと考えています。

プロジェクトの流れ

1st step 2022

* 高校ラグビー部 参加校募集

* プログラムの準備

参加校、先生方との準備

Base の設定

チーム編成

スケジュール

プログラムの構成

* プログラム開始

ゲームセッション

トレーニングセッション

2nd step 2023 ~

* 新しい参加

ラグビースクールの中学生

無所属の中高校生

OB (18~21 歳程度)

* 新たな Base 設置およびチームの編成

県内 4 か所の Base

各 Base で 2 ~ 3 のカテゴリーの編成

(~15/~18/~21/レディース)

* 設備の充実

Base フィールドの芝生化

* プログラムとスケジュールの再編

* プログラムとサポートの充実

3rd step 2025 ~

* 新たな Base の設置およびチームの編成

【目標】

① 県内 7 か所の Base

② 各 Base 3 ~ 4 のカテゴリー編成

(~15/~18/~21/レディース)

* プログラムとスケジュールの再編

* プログラムとサポートの充実

* 設備の充実

Base フィールドの芝生化

その他の設備

* 他の競技、文化活動の参入

プロジェクト発起人

兵庫県の高校ラグビー部出身の三名の有志です。

植浦智仁（ウエウラモトハル）

1966年4月22日生 神戸市出身

兵庫県ラグビースクール～東灘高校～法政大学～レナウン

芦屋ラグビースクールコーチ

現職 マルソル株式会社

田中佳成（タナカヨシナリ）

1967年3月9日生 神戸市出身

星陵高校～大阪体育大学～六甲クラブ・ヤマハ発動機ラグビー部

（現静岡ブルーレヴス）S.C.コーチ

自営業

原田丈士（ハラダタケシ）

1966年9月12日生

神戸高校～学習院大学～野村証券

現職 一般社団法人エス・インパクト理事